

## 平成23年入込観光客総評

平成24年6月 箱根町企画観光部観光課

平成23年の入込観光客は、3月11日の東日本大震災の発生及び、その後の福島第一原子力発電所事故の影響が大きく響き、18,000千人台を割る結果となり、当町にとっては大変厳しい1年となった。

入込観光客総数は、17,671千人（前年比88.2% 2,365千人の減）となり、前年の数字を大きく下回る結果となった。その内訳は、宿泊客が4,281千人（前年比92.1% 365千人の減）、日帰り客が13,390千人（前年比87.0% 2,000千人の減）となっている。

### 1 宿泊客について

施設形態別に見ると、旅館・ホテルは3,424千人（前年比94.4% 202千人の減）、寮・保養所が753千人（前年比83.4% 150千人の減）、そして、その他の施設（民宿、国民宿舎、ユースホステル、ペンション及びキャンプ場）が104千人（前年比89.1% 13千人の減）となった。

全ての施設形態において、前年を下回る結果となった。

一般客は4,171千人（前年比93.3% 300千人の減）、外国人は63千人（前年比47.3% 70千人の減）と大幅に減少したが、修学旅行生は47千人（前年比110.0% 4千人の増）と前年を上回った。

一般客は、震災及びその後の観光に対する自粛ムードが影響し、年の後半は持ち直してきたが、前年を下回る結果となったと考えられる。外国人宿泊客は、震災及び原発事故による旅行のキャンセル、日本への渡航自粛勧告、安全に対する懸念などが影響し、訪日客が大幅に減少したことが要因となり、前年の半数以下となった。修学旅行生は、震災や原発事故の直接的な影響があった東日本方面への行先が当町へ振り替えられたことなどが影響し、前年を上回る結果となったと考えられる。

### 2 日帰り客について

日帰り客は、宿泊客同様に震災及び原発事故が大きな要因となり、前年を大幅に下回った。特に、震災後の計画停電や交通機関の運休・減便、観光に対する自粛傾向があった春先に落ち込みが大きかった。さらに、震災以降、団体客や外国人客が減少したことにより、こうした客層が多い観光施設、交通機関などの利用者が減少したことも重なり、年の後半には回復傾向になったが、年間の数値としては前年を大きく下回った。

### 3 月別入込み状況について

1月、2月は、年始の日の並びが良くなかったこと、降雪の影響などにより、入込み数は伸びなかった。3月、4月は、震災及び原発事故が入込みに大きく影響した。5月は、ゴールデンウィーク以降、やや回復傾向となり、6月は、ETC休日1,000円割引が終了することに伴う駆け込み需要により週末のマイカーでの来町が目立ったが、両月とも前年には及ばなかった。7、8月は、箱根温泉AIDプロジェクトにより官民を挙げた誘客を実施するとともに、芦ノ湖夏祭りウィーク、箱根大文字焼などの夏のイベントの例年どおりの実施、海よりも山が好まれる傾向、節電の意識の高まりによる涼を求めた来所などが当町にとってはプラスに働き、猛暑だった前年を上回った。9月、10月は、仙石原すすき草原が例年以上の賑わいを見せ、3回の3連休の入込みが好調だった。

11月は、紅葉の色づきがあまり良くなく、週末に天気が優れなかったこともあり、前年を下回った。12月は、後半の冬休みに入ってから入込が好調で、特に湯本や大涌谷は大変賑わっていた。

最大の入込みがあったのは、夏休みの8月であり、次いで、紅葉の季節の11月となった。一方、3、4月は、震災及び原発事故の影響により入込みの減少が大きかった。

### 4 まとめ

平成23年は、同年3月11日に発生した震災及び原発事故に伴う、電力不足、計画停電、ロマンスカーを始めとした交通機関の運休・減便等により、当町の観光客は大きく減少し、さらには、震災後の観光に対する自粛ムードが追い打ちをかけ、春先は非常に厳しい状況が続いた。

また、外国人観光客については、原発事故に伴う放射能漏れの懸念が払拭されない中、各国で渡航自粛勧告が出されたことにより、一時は外国人観光客が町内でほとんど見受けられないほど激減した。

こうした中、「今、箱根にできること」をスローガンに掲げ、箱根温泉AIDプロジェクトが立ち上がり、官民が協力し、被災地への支援の他、涼しい夏の箱根のPR、箱根元気クーポンの発行、お得な宿泊プランの提供、観光施設の連携等の誘客事業を実施した。

一方、激減した外国人観光客に対しては、関東運輸局、横浜市の他、民間事業者等と連携した、震災による風評被害を払拭するためのビジットジャパン地方連携事業、東アジア地域でのセールスプロモーションを実施し、箱根の安心・安全を積極的に呼びかけた。

以上の国内、海外に向けた取組みを実施するとともに、町内事業所の利用客の回復に向けた企業努力もあり、当町が安心・安全な観光地として認識された結果、年の後半には観光客も回復傾向となったが、年間の観光客総数は11.8%の減となり、前年に回復した20,000千人台を大きく下回った。

平成24年は、依然として残る震災の影響、東京スカイツリーを始めとした首都圏近郊の大型施設の開業、新東名高速道路の開通等、当町の観光を取り巻く情勢が厳しさを増しているが、自然、文化、歴史、温泉等、他に代え難い当町の観光資源の良さを改めて見直すとともに、「お客さまに喜ばれる」観光地という原点に立ち返り、官民を挙げた誘客に引き続き取り組むことで、この難局に対処していきたいと考えている。

# 平成23年 月別入込観光客数一覧

(単位:人)

施設区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	対前年比
旅館・ホテル	265,718	258,443	165,911	178,070	280,779	248,143	297,472	441,713	305,925	328,822	348,423	304,573	3,423,992	94.4%
(内数:一般客)	256,762	248,263	161,960	176,903	274,787	240,757	291,648	434,683	299,103	306,418	334,881	297,388	3,323,553	95.9%
(内数:外国人客)	8,956	10,180	3,951	857	1,797	1,988	3,251	3,271	3,737	6,025	5,671	6,593	56,277	47.0%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	310	4,195	5,398	2,573	3,759	3,085	16,379	7,871	592	44,162	108.7%
民 宿	1,565	1,043	718	909	1,449	852	1,355	2,643	1,411	1,639	1,546	1,388	16,518	83.1%
(内数:外国人客)	247	251	124	62	179	122	255	403	297	406	324	267	2,937	34.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
国民宿舎	3,206	2,912	2,351	2,590	4,351	3,548	4,005	6,229	4,260	6,141	4,570	3,704	47,867	99.1%
(内数:外国人客)	199	267	113	59	76	182	214	88	158	245	290	273	2,164	83.8%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	68	326	445	0	0	375	1,285	253	0	2,752	136.2%
ユースホステル	85	69	62	67	57	74	150	241	92	118	119	89	1,223	99.8%
(内数:外国人客)	54	30	18	18	11	10	67	32	32	60	72	52	456	60.1%
ペンション	595	432	269	317	790	414	607	1,447	885	911	1,027	833	8,527	60.7%
(内数:外国人客)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	0.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
キャンプ場・コテージ	1,067	897	558	1,176	2,183	1,057	2,955	9,635	4,046	2,554	1,615	1,893	29,636	89.6%
(内数:外国人客)	0	0	0	50	101	36	143	353	112	40	19	36	890	1253.5%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-----
寮・保養所	60,170	48,071	26,104	36,358	68,168	57,728	67,917	113,392	61,595	68,849	76,753	67,771	752,876	83.4%
宿泊客計	332,406	311,867	195,973	219,487	357,777	311,816	374,461	575,300	378,214	409,034	434,053	380,251	4,280,639	92.1%
(内数:外国人客)	9,456	10,728	4,206	1,046	2,164	2,338	3,930	4,147	4,336	6,776	6,376	7,225	62,728	47.3%
(内数:修学旅行者)	0	0	0	378	4,521	5,843	2,573	3,759	3,460	17,664	8,124	592	46,914	110.0%
日 帰 客	998,221	918,035	558,578	630,488	1,267,956	1,002,907	1,021,548	1,797,915	1,042,534	1,474,695	1,667,030	1,010,454	13,390,361	87.0%
観光客総数	1,330,627	1,229,902	754,551	849,975	1,625,733	1,314,723	1,396,009	2,373,215	1,420,748	1,883,729	2,101,083	1,390,705	17,671,000	88.2%

## 過去10年間の観光客の推移

(1) 宿泊客数			平成13年	4,742,826
年	宿泊客数(人)	対前年比	対H13年比	対前年増減(人)
14	4,688,781	98.9%	98.9%	△ 54,045
15	4,624,226	98.6%	97.5%	△ 64,555
16	4,633,120	100.2%	97.7%	8,894
17	4,300,738	92.8%	90.7%	△ 332,382
18	4,618,012	107.4%	97.4%	317,274
19	4,722,093	102.3%	99.6%	104,081
20	4,727,069	100.1%	99.7%	4,976
21	4,525,157	95.7%	95.4%	△ 201,912
22	4,646,053	102.7%	98.0%	120,896
23	4,280,639	92.1%	90.3%	△ 365,414

(2) 日帰客数			平成13年	14,662,174
年	日帰客数(人)	対前年比	対H13年比	対前年増減(人)
14	14,582,219	99.5%	99.5%	△ 79,955
15	14,703,774	100.8%	100.3%	121,555
16	14,423,880	98.1%	98.4%	△ 279,894
17	14,604,262	101.3%	99.6%	180,382
18	14,631,988	100.2%	99.8%	27,726
19	15,539,907	106.2%	106.0%	907,919
20	15,949,931	102.6%	108.8%	410,024
21	15,123,843	94.8%	103.1%	△ 826,088
22	15,389,947	101.8%	105.0%	266,104
23	13,390,361	87.0%	91.3%	△ 1,999,586

(3) 観光客総数			平成13年	19,405,000
年	観光客総数(人)	対前年比	対H13年比	対前年増減(人)
14	19,271,000	99.3%	99.3%	△ 134,000
15	19,328,000	100.3%	99.6%	57,000
16	19,057,000	98.6%	98.2%	△ 271,000
17	18,905,000	99.2%	97.4%	△ 152,000
18	19,250,000	101.8%	99.2%	345,000
19	20,262,000	105.3%	104.4%	1,012,000
20	20,677,000	102.0%	106.6%	415,000
21	19,649,000	95.0%	101.3%	△ 1,028,000
22	20,036,000	102.0%	103.3%	387,000
23	17,671,000	88.2%	91.1%	△ 2,365,000